
2023/09/20

第10回アカデミア交流会

「マイクロバイオーム創薬の現状と課題」

(Link-J 日本橋、オンラインとのハイブリッド形式で開催)

JMBC では、定期的にアカデミアとの交流会を開催しています。

今回は、慶應義塾大学薬学部創薬研究センター教授 金倫基先生にご登壇いただき、マイクロバイオームに焦点を当てた創薬研究の開発状況やその課題についてご講演いただきました。再発性 *Clostridioides difficile* 感染症に対する便微生物移植用の糞便サンプルが医薬品として承認されたというサクセスストーリーがある一方で、開発が中断しているモダリティも複数あることを様々な事例を挙げてご紹介いただきました。これらの臨床試験における成功と失敗のレビューにより、リダクショリズム的観点でなくホーリズム的観点で腸内細菌叢をモジュレートすることが、高い治療効果を持つモダリティの条件として重要であることなど、大変興味深い内容についてご講演いただきました。

実地 16 名 + オンライン 86 名と多数のご参加者を迎え、大変活発な議論が行われました。

○金先生の主なご経歴

2000 年 北里大学薬学部卒業

2002 年 北里大学大学院薬学学術科修士課程（微生物学専攻）修了

2005 年 北里大学大学院薬学学術科博士課程（微生物学専攻）修了

2005 年 北里大学薬学部微生物学教室講座研究員

2006 年 University of Michigan Medical School (USA) Post-doctoral Fellow

2011 年 筑波大学大学院人間総合科学研究科助教（免疫学）

2011 年 筑波大学医学医療系助教（免疫学）

2013 年 University of Michigan Medical School (USA) Research
Investigator

2015 年 Vedanta Biosciences, Inc. (USA) Senior Scientist

2016 年 Vedanta Biosciences, Inc. (USA) Consultant

2016 年 慶應義塾大学薬学部生化学講座専任准教授

2018 年 慶應義塾大学薬学部創薬研究センター教授
